防犯・交通米沢少年隊（山形県）

こんにちは。山形県米沢市から来ました、防犯・交通米沢少年隊です。活動について発表します。指導員の金子です。

隊長の米沢四中３年、井上祐貴です。

私の右側は、米沢市の花である吾妻シャクナゲをモチーフにした隊旗です。後ろは、子供たちの活動で作ったのぼり旗です。

今日の発表に際して、コンピューターを操作します事務局の清野です。よろしくお願いします。

私が指導員になった経過ですが、中学校で教員をしていまして、中学校で子供たちが大変成長し、逞しくなっていくということを常々見ていました。そして退職後、先輩の先生から声を掛けていただいたときに、この機会に子供たちに力を注ごうということで指導員になりました。

私たちが活動で大切にしていることは、隊員のモットーとして少年隊の規約の中に示されています。具体的には、挨拶をきちんと行い、人と人との絆を大切にする。集団の規律を守り、常に明るく行動する。心身を鍛え、進んで地域社会に貢献する。自ら学び、考え、自分の行動に責任を持つ。高齢者を敬い、その体験や知恵を学ぶ。こういうことを踏まえて、輝いてボランティア活動、奉仕活動を築けるように今、努めているところです。

活動地域の紹介

さて、まず最初に私たちの街、米沢市の紹介を DVD で行いたいと思います。ご覧ください。

（動画開始）

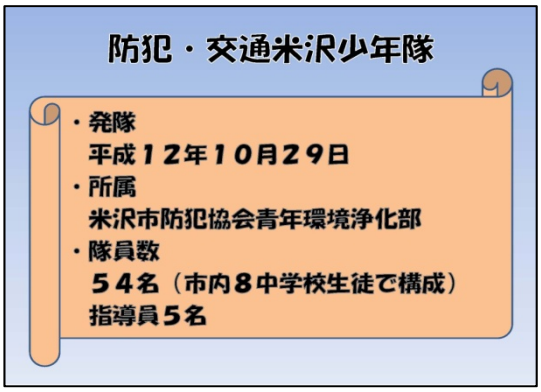
東京から山形新幹線でおよそ２時間。米沢市は山形県の南の玄関口に位置します。山形県と福島県の県境にある吾妻連峰からは、山形県の母なる川、最上川が流れだし、豊かな水をたたえた米沢盆地では、およそ９万の市民が生活しています。

米沢市はかつて上杉氏が居城を構えた城下町として栄え、今なお、当時の面影が色濃く残されています。その一方で全国初のインダストリアルパーク、八幡原中核工業団地を有する、東北屈指のものづくりの街としても発展し、近年は有機 EL 照明に代表される最先端の研究で世界をリードしています。歴史と最先端の技術が融合する町、米沢。さらに四季折々に姿を変える豊かな自然と、ここで育まれた豊かな食文化が、訪れた人、全てを魅了しています。

（動画終了）

団体概要

では、防犯・交通米沢少年隊の概要を説明します。現代の子供たちは、集団活動での達成感や仲間意識を醸成する機会が少なく、豊かな心や適切な人間関係を作れず、心の闇に悩み、非行に走ることがあると指摘されています。本隊は平成 12 年に、全国で少年の凶悪事件が相次いで発生したことを受けて、防犯・交通ボランティア活動を通じて、地域の安全・安心の確保と、少年の健全育成を図ることを目的として結成されました。



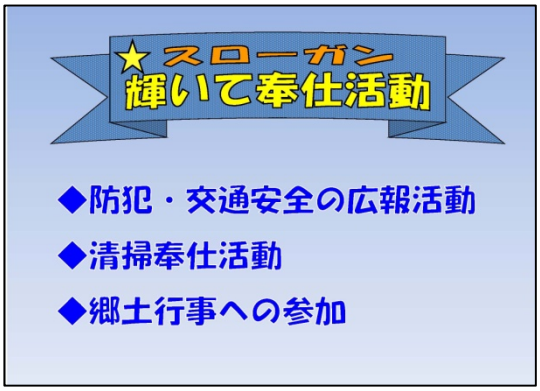
本隊は、米沢市防犯協会青少年環境浄化部に所属し、教員退職者などの大人が指導員となり、隊員の防犯意識の高揚を図るとともに自主性を重んじた活動を行い、次代の防犯リーダーを担う隊員を育成しています。また、隊員は中学校の理解と協力を得て、学校経由で募集しており、現在、米沢市内の全中学校から応募のあった隊員 54 名と指導員５名で活動しています。

本隊の大きな特長は、隊員が中学生であることです。「こういう活動をやってみたい」という子供の感性を生かして、私たち指導員が助言指導しながら活動を展開しています。米沢市防犯協会や米沢地区交通安全協会とも連携を図り、若い世代、現役世代、高齢者世代の交流にも心掛けています。また、犯罪の起きにくいまちづくりに向けて、きれいな街並みを保つことが重要であることから、上杉まつりなどの催事に併せて、市内の清掃活動を行います。さらに郷土行事には防犯協会員などと一緒に参加し、米沢の郷土行事の伝承と、郷土を愛する心を育んでいます。

活動(事業)内容・特長

こんにちは。防犯・交通米沢少年隊隊長の井上です。では、防犯・交通米沢少年隊の活動について、私のほうからご説明いたします。私たちは米沢の街が安全･安心な街になるよう「輝いて奉仕活動！」をスローガンに、中学生の目線から各活動への取り組みに力を入れています。

まずは、防犯・交通広報活動への参加です。春や夏の「交通安全県民運動出発式」や「安全･安心なまちづくり米沢市民大会」などの行事に出席し、大会宣言文の読み上げなどを行っています。こういった防犯・交通に関する活動に参加することで、車を運転する大人だけではなく、日頃、徒歩、自転車を利用する私たちも交通安全についてあらためて学び、気を付けるきっかけにもなりました。



次に、薬物乱用防止キャンペーンへの参加です。毎年６月には保健所主催の薬物乱用防止キャンペーンに参加します。県警の薬物乱用防止広報バス「みらい号」で、私たち隊員も薬物の恐ろしさを学び、米沢市の少年が薬物に手を染めないように呼び掛けを行っています。

次に、青少年健全育成啓発活動です。７月には、県からの依頼を受けて「いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動」に協力しています。子供達に向けて、非行防止やいじめ防止を呼び掛け、大人も子供達の変化を見逃さないよう「いじめをしない！させない！見逃さない！」をスローガンに広報活動を行っています。

特にいじめは同年代の人間関係の中で生じやすいものです。放っておくと、非行や孤独、また引きこもりへと発展しかねません。一人で悩まず、まず誰かに話してほしいと私は思います。また、こうした同年代を対象にした啓発活動を行うことによって、青少年への自己啓発を促していけたらよいと思っています。

次に、中学生の感性を活かした活動です。防犯･交通米沢少年隊の活動は、今年で 16 年目を迎えます。毎年、私たちは先輩隊員が築いてきた伝統を引継ぎ、自分たちがどのような活動をして米沢市を元気な街にするか、隊員同士で話し合っています。

その中の一つに、少年隊員が身に付けている缶バッチがあります。これは少年隊の活動をより多くの市民に知っていただこうと、オリジナルキャラクターを考案し、作成したものです。また、市民が万引きなどの犯罪を犯したり、振り込め詐欺の被害に巻き込まれないよう、伝えたい内容を広報チラシにして、イベント時に配布しています。

さらに昨年は、広報ティッシュを手作りしてキャンペーン活動をしました。隊員がイラストをデザインし、一言メッセージを書き入れ、心を込めて製作しました。アイデアを出し合うことで、日常生活における危険を再確

認できる活動でもありました。

　さらに、私たちは世代を超えた活動ができます。私たち中学生は、親や学校の先生以外の大人と一緒に話をしたり、何かをしたりする機会はあまりありません。少年隊活動では、いろいろな世代の大人と対等に話をする機会をもつことができます。一生懸命活動をすれば、指導員の先生をはじめとする、いろいろな方から褒めていただけますし、ルールやマナーを守らないと厳しく注意を受けます。このように、活動の中でたくさんの指導をいただきながら、社会での経験を少しずつ増やしていけることは、私たち隊員にとってとてもありがたいことです。私はこの活動を、家庭や学校以外でできる社会勉強の一つだと思っています。

　世代を超えた活動の一つに、郷土行事である「上杉雪灯籠まつり」での雪灯籠製作があります。このまつりは、毎年２月に行われ、冬の米沢を彩る代表的な行事です。そして、たくさんの観光客が訪れます。私たちも祭りを盛り上げるため、防犯協会の方々から教えてもらいながら、雪灯籠と雪ぼんぼりを製作しています。今年のお祭りでは、雪灯籠３基と雪ぼんぼり 100 個を作りました。写真は、雪ぼんぼりを作っているところです。バケツに雪を詰めて逆さまにして作ります。みんなで楽しく作ることができました。

　私たちが製作した雪灯籠と雪ぼんぼりです。夜にはろうそくの明かりが灯り、幻想的な雰囲気になります。皆さんも機会がありましたら、雪灯籠まつりにぜひ来てみてください。

山形県では、日を決めて少年非行防止活動を一斉に行う「少年非行防止の日」という取組をしており、米沢警察署でも年間４回行われます。私たちも少年警察ボランティアなどの大人のボランティアの方々と一緒に、パトロール活動、自転車防犯診断、広報活動などを実施しています。

こちらはイオン米沢店の駐輪場で実施した防犯活動の写真です。こちらの店舗にはゲームセンターや映画館もあり、中高校生が多数遊びに来るエリアです。少年非行防止の日には、警察官と一緒に自転車の防犯診断をします。盗難被害に遭った自転車の約８割が無施錠であったと聞いています。自転車は私たち中学生の大切な移動手段です。盗まれないように施錠することをしっかりと呼び掛け、広報活動を行っています。今回、防犯診断をしてみて、無施錠の自転車がかなり多いことに驚きました。やはり一人一人の心がけが大切だと感じました。

今年の「少年非行防止の日」には、イオン米沢店の店内放送を使わせてもらい、隊員自らの声で広報活動をしました。犯罪被害防止、非行防止、交通安全のために、自分たちでどんなことを呼び掛けたらよいかを話し合い、オリジナルのメッセージを呼び掛けました。

こちらの写真は、隊員が街を清掃しながら回っている様子です。犯罪の起きにくいまちづくりは、きれいな町並みを保つことが重要と言われています。私たちは米沢がいつもきれいな街であってほしいと思っています。 大勢の観光客で賑わう「上杉まつり」では、きれいな街でまつりを楽しんでもらいたいと、会場付近のごみ拾いを毎年実施しています。

活動中「ごくろうさま」や「ありがとう」など、いろいろな方から声を掛けられました。

次に上杉まつりでの広報活動です。まつり会場では、見物しているお客様に広報ティッシュを配布し、犯罪被害や非行防止を呼び掛けました。米沢を代表する上杉まつりには、毎年大勢の観光客が訪れます。私は活動を通して、米沢市民の一人として人の役に立てたことに喜びを感じました。

最後に、毎年 12 月に行われる「輝きの心伝承式」です。２年間の活動を終えた３年生が離隊し、新しく１年生が入隊します。この伝承式は、学校で言えば入学式と卒業式が一度に行われる式典です。今年の「輝きの心伝承式」は、11 月 28 日に開催されます。私は入隊した日のことをよく覚えています。無邪気な私たちを満面の笑みで迎えてくださったことや、離隊されていく先輩方がとてもりりしく大人びていて、緊張したのを思い出します。

私たち３年生の活動も残りわずかです。これまで、先輩や指導員、防犯に携わる方々の協力によって、さまざまなことを学び、活動を続けてくることができました。先ほどもお話しいたしましたが、防犯、交通安全活動に参加したことで、自転車をとめる際には必ず鍵をかけますし、自分の交通マナーや犯罪などの意識もしっかりもつようになりました。

今後の課題

立派に引き継いでくれる後輩たちに、防犯・交通米沢少年隊の活動の意義をしっかり伝承し、最後に有終の美を飾れるよう、精いっぱい頑張っていきたいと思います。そして、活動を終えても、ここで学んだことを活かし、健全な精神を持って、青少年への啓発に心がけて発信していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問　活動の中で、世代間交流をされておられるということで、私たちも防犯ボランティアをやっていて、これからやっていきたいと思っていることなのですが、自主防犯ボランティア団体といったところと、協働されるきっかけとなったようなことは何かありますか。

〇回答　防犯・交通米沢少年隊は、そもそも市の防犯協会の中の一部となっておりますので、活動するときには、必ず防犯協会の方々、交通安全協会の方と警察のボランティアである少年補導員の方たちと一緒に活動をするという形となっておりますので、特に働きかけてというものはありません。ただ、その活動を続けてきたことで、今度は県のいじめ・非行防止の担当の部署や、保健所の担当の方から「少年隊の皆さんもこの活動に参加してください」と、逆に声を掛けていただいて、一緒に活動することになったということがあります。